



環境かわら版

2024年1月号 (332号)



あいち森と緑づくり活動発表・交流会を開催します (P2)



かがやけ☆あいちサステイナ研究所の成果発表会を開催しました (P5)



令和5年版環境白書を発行しました (P7)



愛知県は「SDGs 未来都市」として、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組を推進しています。県の環境に対する取組は、環境局 Web ページ「あいちの環境」で紹介しています。



「あいちの環境」(<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>)



あいち森と緑づくり活動発表・交流会を開催します



愛知県では、森と緑づくりにつながる活動や環境学習を行う NPO・ボランティア団体、市町村などに対し、「あいち森と緑づくり税」を活用した「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金」による支援を行っています。

今年度の取組事例の発表や参加者同士の情報交換などを行う「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業 活動発表・交流会」を開催します。

森や緑に関する環境保全活動を実施している方、他の団体の活動を知りたい方、新たに環境活動を始めたい方など、どなたでも無料でご参加いただけますので、是非お越しく下さい。

1 日時 2月2日(金) 13:30~16:30

2 場所 愛知県西三河総合庁舎 10階大会議室
(岡崎市明大寺本町1-4)

3 定員 100名(申込先着順)

4 申込方法

氏名、団体所属の方は団体名、電話番号、メールアドレスをご記入の上、FAX 又はメールによりお申し込みください。

FAX : 052-954-6914

メール : kankyokatsudo@pref.aichi.lg.jp

5 申込期限

1月29日(月)まで

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/happyou-kouryuu.html>)



あいち森と緑づくり 交流会

検索

環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ
電話 052-954-6241 (ダイヤルイン)

「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」を実施します



買い物をするときに、必要なものかどうかを十分に考慮した上で、価格や品質、利便性、デザインだけでなく、環境のことを考え、環境負荷ができるだけ少ないものを優先して購入することを「グリーン購入」といいます。

愛知県は、グリーン購入の普及と定着を図るため、岐阜県、三重県、名古屋市及び関係団体・事業者と連携・協働して、「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」を2002年度から実施しています。

キャンペーン期間中、参加店舗において、環境ラベルが付いた商品や、地元・旬のもの、詰め替え商品、環境配慮商品を購入して、キャンペーンにご応募いただいた方の中から、抽選で素敵な商品をプレゼントします。是非ご参加ください。



1 キャンペーン期間

1月9日(火)から2月8日(木)まで

2 応募方法

参加店舗に備え付けの応募はがき又は東海三県一市グリーン購入キャンペーン Web ページから応募フォームにアクセスしご応募ください。

(<https://www.pref.mie.lg.jp/eco/earth/12569014784.htm>)

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.mie.lg.jp/common/01/ci500005152.htm>)



グリーン購入キャンペーン

検索

環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ
電話 052-954-6241 (ダイヤルイン)

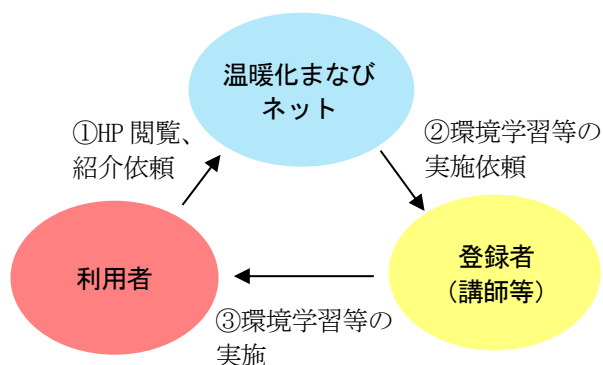
「あいち地球温暖化対策人材登録・紹介ネット」に 登録する個人、事業者、団体等を募集しています



愛知県では、県民の皆さんの地球温暖化対策活動を支援するため、様々なテーマに合わせた講師や指導者等の情報を掲載・紹介する「温暖化まなびネット」を開設しています。

地球温暖化対策に関する講師や指導者等として県内で活動していただける方（個人・事業者・団体等）を随時募集していますので、是非ご応募ください。

【温暖化まなびネットとは】



1 応募方法

Web ページから登録申請書をダウンロードし、メール又は郵送で提出してください。（宛先は下記 Web ページを参照）

2 登録の流れ

活動実績などを審査の上、講師として登録します。詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/onmananet-bosyuu.html>)



温暖化まなびネット

検索

地球温暖化対策課 調整・企画グループ
電話 052-954-6213 (ダイヤルイン)

「中部圏低炭素水素認証制度」に基づき、 2022 年度の低炭素水素の製造実績を認証しました



愛知県では、岐阜県、三重県及び名古屋市との連携のもと、「中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議」を通じ、水素の製造、輸送、利用に伴う CO₂ の排出が少ない水素を「低炭素水素」として認証・情報発信する「中部圏低炭素水素認証制度」により、中部圏の低炭素水素サプライチェーン構築に取り組む事業者を支援しており、これまでに 8 件の事業計画を認定しています。

このうち、2022 年度に低炭素水素の製造を行った 6 件のプロジェクトについて、2022 年度における低炭素水素の製造実績を 2023 年 12 月 22 日に認証しました。

1 年間に製造された低炭素水素の合計量は、燃料電池自動車約 4,700 台に充填可能な燃料の量に相当します。

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/teitansosuisoninsyou2022.html>)



[2022 年度低炭素水素製造量]

プロジェクト名	申請者	低炭素水素製造量 上段 m ³ -H ₂ (下段 t-H ₂)
知多市・豊田市再エネ利用低炭素水素プロジェクト	トヨタ自動車(株)	192,715 (17.33)
セントレア貨物地区水素充填所プロジェクト	(株)鈴木商館	20,407 (1.83)
豊田自動織機高浜工場再エネ利用低炭素水素プロジェクト	(株)豊田自動織機 東邦ガス(株)	27,693 (2.49)
元町工場太陽光水電解水素ステーションプロジェクト	トヨタ自動車(株)	1,490 (0.13)
大口第2部品センター太陽光水電解水素ステーションプロジェクト	トヨタ自動車(株)	43,858 (3.94)
東邦ガス水素ステーション豊田市産他再エネ価値利用水素供給プロジェクト	東邦ガス(株)	8,054 (0.72)
合計		294,217 (26.45)*

* 四捨五入による端数処理の関係で合計値が合わない場合がある。

地球温暖化対策課 活動支援グループ
電話 052-954-6887 (ダイヤルイン)

かがやけ☆あいちサステイナ研究所の成果発表会を 開催しました



持続可能な未来のあいちの担い手を育成するため、大学生が研究員となり、パートナー企業・団体からの環境課題に対して解決策を提案する「かがやけ☆あいちサステイナ研究所」の成果発表会を開催しました。

第9期生となる35名の研究員は、6月25日の開所式以降、8チームに分かれてパートナー企業・団体を訪問し、環境取組の現地調査や担当者とのディスカッションを行うとともに、チームミーティングを繰り返し、課題の解決策を検討してきました。

成果発表会では、各チームの研究成果の発表と併せて、研究活動の締めくくりとなる修了式と表彰式を行いました。

1 概要

日時 12月10日（日）13:00～16:20
会場 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス
南館 DS101（DSホール）

参加者 156名

2 研究成果発表会

各チームは、10分間という短い時間の中で、創意工夫を凝らした発表を行い、パートナー企業・団体の代表者及び審査員から講評をいただきました。



「チーム・サンゲツ」の発表

3 修了式

知事は研究員に対して、半年間にわたる研究活動を労い、「持続可能な未来のあいちの担い手として活躍することを期待する」とエールを送りました。また、研究員を代表して「チーム・マキタ」の神谷亮汰さんが、知事から修了証を受け取り、関係者への感謝の言葉とともに、「私たちは本日まで8チー

ムに分かれて力を尽くしてきましたが、これからはチーム・愛知の一員として、サステイナ研究所で培った力を発揮していきます」と決意を述べました。



修了証授与

4 表彰式

審査員審査による最優秀賞・優秀賞と、参加者投票によるオーディエンス賞を選定し、最優秀賞には、誰もが生涯心身ともに健康でいられるための企画「パンを健幸食に！～Health & Well-being for all with Pasco～」を提案した「チーム・Pasco」が輝きました！



最優秀賞を受賞した「チーム・Pasco」と知事
選定結果

賞	受賞チーム
最優秀賞	チーム・Pasco
優秀賞	チーム・サンゲツ（ダブル受賞）
オーディエンス賞	

5 その他

「かがやけ☆あいちサステイナ研究所」の詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo/sustaina-ken.html>)



あいちサステイナ研究所

検索

環境政策課 企画・広報グループ
電話 052-954-6210（ダイヤルイン）

「令和6年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール」で 愛知県選考の3作品が受賞しました



「令和6年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール」
(主催：(公財)日本鳥類保護連盟)において、愛知県選考作品として推薦した半田市立乙川小学校4年の瀬口愛菜さんの作品が林野庁長官賞を、豊橋市立牟呂中学校3年の渡邊美優さんと名古屋市立南特別支援学校高等部3年の青木煌太さんの作品が(公財)日本鳥類保護連盟会長賞を受賞しました。

愛鳥週間用ポスター原画コンクールは、全国の小・中・高等学校等の児童・生徒を対象に次年度の愛鳥週間用ポスターの原画を募集し、優秀な作品を表彰するものです。県内からは、489校の小・中・高等学校等から計14,972点の作品の応募があり、県の審査会において特に優秀と認められた30点を選考作品として、全国コンクールへ推薦しました。全国コンクールでは、各都道府県から推薦のあった406点の作品について審査が行われました。

<受賞作品>

林野庁長官賞



瀬口愛菜さんの作品

(公財)日本鳥類保護連盟会長賞



渡邊美優さんの作品



青木煌太さんの作品

<募集結果>

学校区分*1	愛知県 (全国)		
	学校数	応募総数	送付数*2
小学校	299 (1,436)	10,274 (21,035)	18 (152)
中学校	179 (1,260)	4,673 (12,834)	9 (153)
高等学校	11 (228)	25 (1,475)	3 (101)
合計	489 (2,924)	14,972 (35,344)	30 (406)

*1 学校区分：特殊教育諸学校の生徒の作品は、小学校・中学校・高等学校の同等の学年に含まれています。

*2 送付数：愛知県又は各都道府県が推薦した作品数

<入賞作品数>

区分	全国	愛知県
(公財)日本鳥類保護連盟総裁賞	1	-
環境大臣賞	3	-
文部科学大臣賞	3	-
林野庁長官賞	3	1
(公財)日本鳥類保護連盟会長賞	9	2
入選	34	-

なお、受賞作品を含む県が推薦した作品30点については弥富野鳥園で展示しています。また県庁地下通路でも展示します。

●弥富野鳥園 2階会議室

弥富市上野町2-10 TEL:0567-68-2338

1月31日(水)まで(月曜日休園)

開園時間 9:00~17:00

※ただし1月9日(火)は振替休園

●県庁本庁舎・西庁舎間の地下通路

5月10日(金)~5月16日(木)までの
愛鳥週間期間(ただし閉庁日は除く。)

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/r6aicho-kekka.html>)



令和6年度愛知県愛鳥週間用ポスター

検索

自然環境課 生物多様性保全グループ
電話 052-954-6475(ダイヤルイン)

令和5年版環境白書を発行しました



環境白書は、愛知県の環境の状況及び環境の保全の施策をとりまとめたもので、県環境基本条例に基づき、毎年県議会に提出しています。



県議会石井議長(中)及びいなもと副議長(右)に川村環境局長から報告(12月15日)

1971年の初刊発行以来53冊目となる「令和5年版環境白書」は、以下の内容を掲載しています。

○ 第1部「特集」

ネイチャーポジティブ(自然再興)の実現に向けた愛知県の取組

○ 第2部「令和4年度の環境の状況と施策」

令和4年度における本県の大気環境、水環境等の状況とその保全のための施策

○ 資料編(※Webページのみ)

環境基準や各法令に基づく基準値など

＜環境白書をご覧になりたい方は＞

「愛知県県民相談・情報センター」の情報コーナー(愛知県自治センター2階)で、1部2,000円で販売しています。また、以下のWebページに全文を掲載しています。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo/0000057223.html>)



愛知県 環境白書

検索

環境政策課 企画・広報グループ
電話 052-954-6210(ダイヤルイン)

「災害廃棄物処理図上演習」を実施しました



大規模な自然災害によって大量の災害廃棄物が発生すると、生活環境の悪化や、復旧・復興の遅れにつながるおそれがあります。愛知県では「愛知県災害廃棄物処理計画」を策定し、災害廃棄物を迅速かつ適正に処理することとしています。

同計画の実効性の向上と関係者間の連携体制の構築を目的として、11月15日、16日に愛知県自治センターにおいて、県、市町村、一部事務組合、環境省及び関係事業者団体*が参加して、災害廃棄物処理図上演習を実施しました。

*愛知県衛生事業協同組合、(一社)愛知県産業資源循環協会、(一社)愛知県環境測定分析協会、(一社)愛知県解体工事業協会、(一社)愛知県土木研究会、(一社)日本建設業連合会中部支部

図上演習では、記録的な大雨災害が発生した後の3日目から5日目までの3日間を想定し、参加者は被災都市の廃棄物部局職員として、時間経過に応じて

生じる様々な課題への対応を検討しました。仮想の時間の流れを設定し、住民からの要望などに対して短時間での判断が求められる演習であり、災害時の切迫感の疑似体験になりました。また、演習を通じて業務手順や連携体制を確認することができ、災害時の対応力の向上につながるものとなりました。



図上演習の様子

資源循環推進課 一般廃棄物グループ
電話 052-954-6234(ダイヤルイン)

環境調査センターでは、より多くの皆さんに環境について関心を持っていただくため、毎年環境調査センター一般公開デーを開催しています。今年度は、12月2日(土)に開催し、昨年度よりも多い400名を超える方にご来場いただきました。普段は非公開の環境分析室や無響室・残響室を特別に公開し、職員が水や大気、騒音等の分析方法や分析に使う機器の解説を行った他、木の実や葉っぱを使った工作や気候変動VR(仮想現実)シアター等を体験していただきました。

気候変動VRシアターは、温室効果ガスの増加が私たちの地球にどう関わっているのかを知り、地球温暖化がもたらすであろう環境異変や災害などの危機を疑似体験できるように環境省が作成したもので、参加者には自然生態系の異変、異常気象による災害の激甚化など、気候変動の影響を体験していただきました。

VRゴーグルは角度を変えることで、全方向の映像



気候変動VRシアター

を見ることができるため、参加者はゴーグルを動かしながら、気候変動の影響を確認していました。参加者からは、「気候変動がVRシアターを見てよくわかった。(60代)」、「VRが楽しかった。すごかった。(小学生)」、「VRシアターが子供にとって、とても興味深かったようで何回もやっていました。(30代)」などの感想がありました。

また、気候変動対策を考えるコーナーでは、気候変動適応やCOOL CHOICEの取組に関する展示を行い、その内容を参考にして、身近にできる気候変動対策を書いていただきました。参加者から「今日からは、宅配便ロッカーやコンビニ受け取りを積極的に利用します。」「電気の使用量を減らし、湯たんぽなどを取り入れます。」などの宣言がありました。

これからも、多くの方に気候変動の緩和と適応について取り組んでいただけるよう啓発活動を行っていきます。



気候変動対策を考えるコーナー

環境調査センター 企画情報部
愛知県気候変動適応センター
電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

※掲載のイベントや講習会等は、天候の影響等により、内容を変更又は中止する場合があります。

愛知県環境情報紙「環境かわら版」
2024年1月9日発行(第332号)
編集・発行 愛知県環境調査センター
企画情報部
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6
電話 052-910-5486(ダイヤルイン)

編集後記

朝晩の冷え込みが辛い季節になり、寒さ対策として我が家ではぬいぐるみウォーマーを導入しました。じんわりと温かく、柔らかい表情のぬいぐるみにいやされています。中身のセラミックパックを温めれば繰り返し使うことができ、環境にも配慮されているので気に入っています。(企画・編集チーム)

今月号とバックナンバーを「環境かわら版」Webページに掲載しています。
(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>)

掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。

